

新たにハーブ類「ローゼル」で町おこし

～ 大多喜町農林業活性化プロジェクトの取組 ～

夷隅農業事務所改良普及課 令和5年11月30日発

大多喜町では、地域の農林業を活性化するため、令和4年度から「大多喜町農林業活性化プロジェクト」(OARP)を立ち上げました。元農林総合研究センター職員4名を委員とし、農家・大多喜町の企業・いすみ鉄道等とともに取り組んでいます。農業事務所は毎月の会議の他、専門分野を持つ委員と連携し、現地での栽培指導を行いました。

その中で、大多喜町の新たな特産品として「ローゼル」の栽培に挑戦することとしました。「ローゼル」は萼^{がく}と苞^{ほう}を食用として用い、栄養素が豊富であることから近年人気のハーブ類です。令和5年度は13名が約1800株を栽培し、10月から収穫が始まりました。主に「道の駅たけゆら」で販売されている他、愛好家向けに摘み取りイベントも開催され、町のPRや地域活性化に一役買っています。農業事務所は、今後も関係機関と連携し、中山間地域の農業の発展と特産品の生産・PRについて、支援していきます。



生育中のローゼルの実



摘み取りイベントの様子